

# 創立70周年記念式典 挙行される



本校の創立七十周年記念式典が九月二十二日に、生徒と教職員、保護者、来賓ら約二百六十人が参加し挙行された。本校の秦校長が「小規模校の良さを最大限に生かし、活気のある学校づくりに取り組んでいく」と式辞を述べ、生徒代表の栗原生徒会長が「湖南高校の一員として誇りをもち、先輩方の功績に恥じぬように次の歴史に向けて歩みを進めていく」と誓いの言葉を述べた。式典では、本校の発展に寄与した歴代の校長、PTA会長、同窓会長の十五人に感謝状が贈られ、厳粛の中にも盛会のうちに終えた。

式典に続き、東京・メキシコシテイー両オリンピックの重量挙げ金メダリストの三宅義信氏による記念講演会を行われ、聞いた方々の心に残る思い出となった。

# 湖南高校だより

信濃県立湖沼高等学校  
 責任者 秦 尚志  
 発行 校長 秦 尚志

早く、小学校三・四年の時のなりたいものには既に「教師」と書いていました。私の母は専業主婦で、家の恥になるので詳しくは書きませんが、幼心にも女性も自立すべきだと思っていまして。女性でも男性と肩を



私が教員を目指したのはかなり前です。

五十嵐↓木村↓小川教頭  
 ↓春山↓佐藤ふ↓高橋↓吉原  
 ↓栗生↓田原↓伊藤恵↓鈴木↓渡邊康↓染谷↓?



生徒会のメンバー

## 新生徒会発足・会長のごとば

私は昨年年度から今回の役員改選までの一年間、生徒会会計として活動してきました。思い返してみるとはじめのうちは考えが甘く、自分の仕事に対する責任も全うできず、周りに迷惑をかけてしまっていました。しかし、私はこの一年間、

並べ出来る仕事で思いついたのは、教師と医者でした。私は理数系科目の勉強はからつきで、医者は無理だと中学生の頃には自覚し、教員になることを決めました。そのためには福島県の教員になれる大学に進学することを目標に、高校も選択しました。私にはお金をかけられないという両親の申し出に従い、大学の四年間自宅から通いました。

私は昨年年度から今回の役員改選までの一年間、生徒会会計として活動してきました。思い返してみるとはじめのうちは考えが甘く、自分の仕事に対する責任も全うできず、周りに迷惑をかけてしまっていました。しかし、私はこの一年間、

誠実 校訓  
 志高 勤勉  
 自律 協同

失敗し続けても成功につなげるために、いろいろな人からヒントをもらいながら考えてきました。そのため、人間的にも少しずつ成長できた気がします。

私は失敗したり、つらいことがあったとき、発明王エジソンの言葉を思い出すことにしています。彼は、電球を作るのに千度の失敗をして、やっとのことで電球をつくったとされています。しかし、彼はその失敗を「千度の失敗」ではなく、「千度のステップを踏んで成功に行きついた」と語っ

した。しばらく、授業をしていたものの、三年生が自宅学習に入るタイミングで、看病に専念しました。母の看病で病院に泊まり込み、日中叔母と交代する生活を一ヶ月続けた後、母は亡くなりました。ガンの告知をしていなかったこと、闘病生活でもっとしてあげられることがあったのではないかと、後悔することが多く、後悔ばかりがこみ上げました。でも、自分が母となり思うことは、私が後悔していたことは母にとっては実は取るに足りないことではなかったかと。娘が日々元気に過ごし、夢を実現した姿を見ることが出来たことで、少しは母の気がかりも軽くなり、旅立てたのではないかと、私には五人もいて

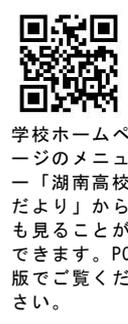
今年度は文化祭を控えているため、私だけでは、生徒会のメンバー全員が「リーダー」としての自覚を持ち、これからの活動を進めていきたいと思えます。(生徒会長・武田魁士・ただだかいと)

年齢もさまざま(一番上と下は十二歳離れています)なので、私の心配事もさまざまです。しかし、彼らが好きなものを食べ、やりたことをし、日々元気に笑っていることが何よりうれしいと感じます。将来の目標を決め、頑張る姿を見るのは勿論うれしいことですが、日々元気で普通に過ごしてくれていることが一番の親孝行だと思っております。『孝行したい時に親はなし』あとで後悔しないよう、皆さんにもしっかりとした高校生活を送ってもらいたいと思います。(染谷真由美・二年B組担任)

努力し、伝統を引き継ぎつつも新たな取り組みを行っていきたくと考えています。来年度には文化祭を控えているため、私だけでは、生徒会のメンバー全員が「リーダー」としての自覚を持ち、これからの活動を進めていきたいと思えます。(生徒会長・武田魁士・ただだかいと)

努力し、伝統を引き継ぎつつも新たな取り組みを行っていきたくと考えています。来年度には文化祭を控えているため、私だけでは、生徒会のメンバー全員が「リーダー」としての自覚を持ち、これからの活動を進めていきたいと思えます。(生徒会長・武田魁士・ただだかいと)

努力し、伝統を引き継ぎつつも新たな取り組みを行っていきたくと考えています。来年度には文化祭を控えているため、私だけでは、生徒会のメンバー全員が「リーダー」としての自覚を持ち、これからの活動を進めていきたいと思えます。(生徒会長・武田魁士・ただだかいと)



ホームページがPCで見やすいように見せています。ぜひご覧ください。